# 宮城文化服装専門学校 2020年度年度事業報告書

### I. 法人の概要

- 1. 設置する学校:宮城文化服装専門学校
  - 学科:(1) 昼間部(2年) ①服装科 ②ファッションビジネス科
    - ③ファッションデザイン科 ④スタイリスト科
    - (2) 昼間部 (1年) ①ファッションスペシャリスト科
    - (3) 夜間部(2年) ①二部服装科
    - (4) 夜間部(3年) ①ファッション技術専攻科
- 2. 宮城文化服装専門学校 入学定員・学生数の状況

## Ⅱ. 2020年度事業の概要

- 1. 2020年度事業計画に対する実施状況
  - (1) 仙台へアメイク専門学校との連携
    - ⇒ 卒業式の合同開催、広報活動における連携の実施
  - (2) ファッションビジネス科を中心とした企業実習の強化
    - ⇒ 株式会社ワールドストアパートナーズとの提携による企業実習の実施
  - (3) 服装科を中心とした縫製工場による縫製技術の指導の取り入れ
    - ⇒ 新型コロナウイルスの影響により実施せず
  - (4) 全学科のカリキュラムの見直しを行い、授業の強化をはかる。
    - ⇒ 実施、2021年度より学則変更
  - (5) 寄付行為に定める人材育成を目的とする事業に関する一切
    - ⇒ 滞りなく運営
- 2. 財政計画(投資と抑制)
  - (1) 収入に対応した経費の削減
    - ⇒ 必要最低限の設備投資の実施
  - (2) 過年度収支の損失分については今後損失分を返済していく
    - ⇒ 実施、2020年度にて返済の完了
  - (3) 非常勤講師の授業時間を再構成し、経費の適正化
    - ⇒ 実施
  - (4) 2021年度入学生に関して2020年度から減少することなく確保し 収支の向上を見込む
    - ⇒ (2-1 「入学定員、学生数の状況」参照)
- 3. 施設設備整備
  - (1) 新入生の増加に伴い、アイロン・ミシン・パソコンを増設。
    - ⇒ 実施

## 4. 修繕

- (1) 教育上必要な機材(ミシン・アイロン等)の修繕を行う
  - ⇒ 実施(「3. 施設設備整備」参照)

- 5. 学生募集活動
  - (1) 募集定員充足を目標として効率よく効果的に広報活動を実施
    - ⇒ 新型コロナウイルスの影響により前年度よりも規模は縮小したが、実施可能な範囲で 仙台へアメイク専門学校と連携して実施
  - (2) 2020年度の新入生は、昼間部41名、夜間部1名、進学者数昼間部29名、夜間部 5名。2021度は在籍総数80名を目指す
    - ⇒ (2-1 「入学定員、学生数の状況」参照)
  - (3) 仙台へアメイク専門学校との統合による連携の機会を活かし、入学検討者に広く告知を行う
    - ⇒ 新型コロナウイルスの影響により前年度よりも規模は縮小したが、実施可能な範囲で 仙台へアメイク専門学校と連携して実施
  - (4) 夜間部の学生募集の広報を工夫し、学校の特徴と優位性を生かした募集を行う
    - ⇒ 実施
- 6. 教職員研修
  - (1) 学内での研修会を行うと同時に、外部の教員研修会等に参加
    - ⇒ 実施(宮城県洋装協会主催)
- 7. 奨学金
  - (1) 公的奨学金、民間の奨学金等の手続きに関して、学生を支援する
    - ⇒ 実施
- 8. 2020年度 行事報告
  - (1)別紙資料のとおり
- 9. 2020年度 就職状況報告
  - (1) 別紙資料のとおり
- 10.2020年度 検定試験受験状況報告
  - (1) 別紙資料のとおり

### Ⅲ. 財務概要

(1) 別紙資料のとおり